第24回久米島町 町民運動会

みんなで深めた町民の和

「のばせ体力!!深めよう町民の和」をスローガンに、第24回町民運動会が10月４日に仲里総合グラウンドで開催されました。

当日は晴天のもと、給水タイムを設けるなど熱中症対策を講じながら無事に開催することができました。

今年の運動会は、7チームが出場し、多くの町民が参加しました。各チーム大接戦となり、最後まで見どころ満載な大会となりました。結果は見事「くめしま」チームが２連覇を果たしました。選手のみなさん、たくさんの応援を送っていただいた町民のみなさんお疲れ様でした。









総合成績　優勝 くめしま　２位 なかさと西　３位 清水

日本科学協会主催

「島で行う科学実験教室（久米島）」

「観察・推論・仮説・検証・考察」という自然科学の考え方を体験することを目的とした「島で行う科学実験教室（久米島）」（日本科学協会主催）が、小中学生を対象にそれぞれ開催されました。

小学生

7月9日・10日の2日間、小学6年生を対象に学校授業の一環として実施されました。

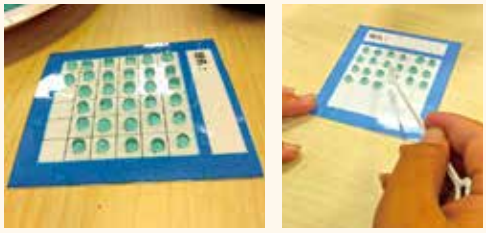
「株式会社ジーオー・ファーム」の大澤氏を講師に迎え、カキの受精を顕微鏡で観察。カキが餌を食べることにより、藻類の色が減る変化も学びました。その後、それぞれが抱いた疑問を解決するための実験方法についてグループで活発に話し合い、発表を行ないました。



カキの餌やり
時間の経過とともに色が変わる様子を観察

中学生

9月27日、中学1・2年生を対象に科学実験教室が開催されました。「株式会社ロート・F・沖縄」の中原氏を迎え、生徒たちは「青い人工イクラ作り」に挑戦。AI画像診断と実食による採点で競い合い、「数値をこう変えよう」と大人顔負けの仮説を立てました。この技術が海外ではプラスチックの代用品として応用され始めていることも紹介され、未来へのワクワクが広がる時間となりました。



人工イクラ作り
AI画像診断に向けてイクラを厳選する様子